

農水省グリーンツーリズム・インバウンド受入体制整備事業 九州研修会

グリーンツーリズムにおけるインバウンド(訪日外国人旅行者)受入の先進事例を基に、地域でインバウンドを受け入れる目的、またその体制づくりにおける様々な課題など、地域DMOのあり方について考えていきます。

インバウンド受入をすでに行っている、またはその計画がある方々には団体、個人を問わず、ぜひ参加していただきたい研修となっています。

九州研修実施概要

【日 時】 平成 27 年 12 月 1 日 (火) 10:00~16:30 受付開始 9:30

【場 所】 くまもと県民交流館「パレア」(熊本県熊本市中央区手取本町 8-9)

【テーマ】 <グリーンツーリズム> 今話題のDMOを学び、外国人を呼び込む実践研修

【参加費】 無料

【対象者】 グリーンツーリズムによるインバウンド(訪日外国人)の受入に取り組む、
または取り組みたい組織・団体、個人。
例)・自治体、地域協議会、観光協会、NPO法人
・宿泊施設や体験施設の関係者 など

【参加定員】 30 名

【申込方法】 日本エコツーリズムセンターのHPの参加申込フォームよりお申し込みください。

【当日スケジュール】

9:30 受付開始

10:00 ご挨拶、研修目的
「DMO (Destination Management Organization) とは？」 福井隆氏 東京農工大学

10:30 講義 1 「小値賀の事例を基に必要なDMO機能を考える(仮)」
高砂樹史氏 小値賀観光まちづくり公社代表取締役

11:40 講義 2 「DMO先進地、長野県飯山市の事例から着地型観光と集客拠点のマネジメント組織について(仮)」
木村宏氏 北海道大学 観光学高等研究センター研究員

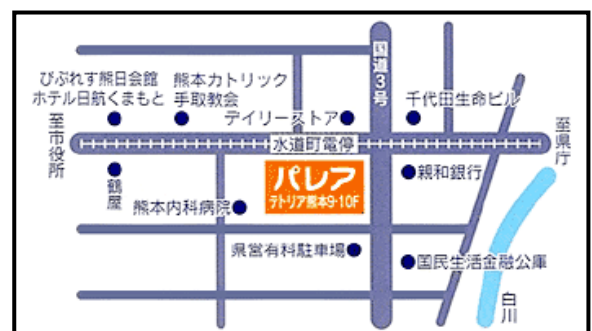
12:40 昼食 + 参加者交流
※昼食は各自でご用意ください。
希望者には実費にてお弁当の注文をお受けいたします。

13:40 DMO体制づくりワークショップ
・課題だし
・地域ニーズ(地域としての受け入れ目的)

15:00 グループ発表

15:30 まとめ、講師コメント

16:30 終了



<アクセス>

◇熊本駅より 市電で「水道町」下車
タクシーで約 15 分

◇熊本空港より リムジンバスで「通町筋」下車
益城熊本空港 IC から約 30 分
熊本 IC から約 30 分

【登壇者プロフィール】

○講義 1

「小値賀の事例を基に必要なDMO機能を考える」



高砂 樹史 氏 小値賀観光まちづくり公社代表取締役

1965年の大阪生まれ。立命館大学出身。10年間の「わらび座」での劇団生活を経て、自給生活をめざし就農。2005年に小値賀町へ移住。島でも田畑を耕しながら半自給生活を目指している。

移住当初は、「ながさき・島の自然学校」職員、2007年より「NPO法人おちかアイランドツーリズム協会」の設立に参加。アメリカ高校生の国際交流事業など小値賀町の「島ぐるみによる観光まちづくり」の取り組みが、2008年度には「JTB交流文化賞最優秀賞」「オーライニッポン内閣総理大臣賞」などを受賞。

また、2010年には着地型旅行会社（株小値賀観光まちづくり公社）を立ち上げ、東洋文化研究家のアレックス・カー氏との連携で、古民家を再生してレストランや宿泊施設に活用する「新しい島旅」事業スタート。2011年に古民家再生事業で「毎日新聞社グリーンツーリズム大賞」を受賞。

こうした島ぐるみの観光まちづくりの取り組みが2012年度「地域づくり総務大臣賞 大賞」を受賞。ホームページは「おちか島旅」(ojikajima.jp)

○講義 2

「DMO先進地、長野県飯山市の事例から着地型観光と

集客拠点のマネジメント組織について（仮）」



木村 宏 氏 北海道大学 観光学高等研究センター研究員 / NPO 法人信越トレイルクラブ 理事

1984年、日本大学文学部ドイツ文学科卒業後、斑尾高原開に勤務。1993年長野県飯山市斑尾高原にてペンション経営（株アルペンポスト代表取締役）。1996年、飯山市のグリーンツーリズム事業に参画。「なべくら高原・森の家」の開業準備。1997年、財団法人飯山市振興公社入社、なべくら高原・森の家支配人。1999年、いいやまブナの森倶楽部を立ち上げ、事務局長。2001年、関田山脈歩くルート設置推進連絡会立ち上げ。2003年、NPO法人信越トレイルクラブ設立（現理事）。2004年、道の駅、日帰り温泉施設の運営を兼務、施設総括支配人。2010年、一般社団法人信州いいやま観光局へ経営統合し、事業課長兼企画開発室長。2011年、NPO法人日本トレッキング協会（現理事）。2012年、日本ロングトレイル協議会（現常任理事）。2013年、一般社団法人信州いいやま観光局事務局次長。2014年、飯山駅観光交流センター所長を兼務。2015年8月31日、一般社団法人信州いいやま観光局を退職。現在に至る。

○全体進行



山口 久臣 氏

1954年、熊本県人吉市生まれ。東海大学海洋学部海洋資源学科卒業。1986年に野外教育、環境教育、国際教育の民間専門事業所「野外教育研究所 IOE」を設立、所長。1991年11月NPO コミュニティ・ネットワーク協会を設立、専務理事。2003年2月、NPO法人コネット協会（CNA）に移行、理事長。2012年6月、IOEとCANを統合・合併、一般社団法人アイ・オー・イー設立、代表理事。

○研修目的

「DMO (Destination Management Organization) とは？」



福井 隆 氏 東京農工大学客員教授

三重県生まれ。日本の過疎集落の再生を地域の現場で研究・提言をし、多くの実績を挙げてきた地元学の伝道者として知られる。とくに、研究者が研究の成果を地域に残さない傾向に対して、「すべては地域に還元」を信条に全国をめぐる。農林水産省「農山漁村活性化人材支援バンク」コーディネーター。